

# 要安全確認計画記載建築物(特定緊急輸送道路沿道建築物)の耐震診断結果

令和2年2月29日

建築物の耐震改修の促進に関する法律第9条の規定に基づき、建築物の所有者から報告された耐震診断の結果を公表します。

(令和8年1月26日更新)

葛飾区

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断方法の名称		構造体力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 ※1, 2				安全性の評価 ※3	耐震改修等の予定※4		備考	
						内容	実施時期							
1	中ノ郷信用組合葛飾支店	葛飾区立石5-10-7	店舗	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版)	Is/Iso	1.275	CTU・SD	0.770	III	-	-		
2	白亜館ダイヤモンドマンション	葛飾区立石5-26-1	共同住宅 店舗	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版)	Is/Iso	1.017	CTU・SD	0.500	III	-	-	耐震改修済	
3	ローズハイツ青戸	葛飾区白鳥4-5-20	共同住宅	5-6	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	【鉄骨が充腹材の場合】	Is/Iso	1.000	CTU・SD	0.390	III	-	-	耐震改修済
4	サンパレス青戸	高層棟 葛飾区青戸8-1-5	共同住宅	5-6	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	【鉄骨が充腹材の場合】	Is/Iso	0.582	CTU・SD	0.320	II	-	-	
		低層棟 葛飾区青戸8-1-5	共同住宅	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版)	Is/Iso	0.143	CTU・SD	0.140	I	-	-		
5	青戸三鈴コーポ	葛飾区青戸7-23-10	共同住宅	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版)	Is/Iso	0.618	CTU・SD	0.340	II	-	-		
6	青戸ダイヤモンドパレス	葛飾区青戸7-24-5	共同住宅 店舗	5-6	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	【鉄骨が充腹材の場合】	Is/Iso	1.013	CTU・SD	0.360	III	-	-	耐震改修済
7	亀有リバーサイドダイヤモンドパレス	葛飾区青戸7-37-5	共同住宅 店舗	5-6	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	【鉄骨が充腹材の場合】	Is/Iso	1.150	CTU・SD	0.565	III	-	-	耐震改修済

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断方法の名称			構造体力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 ※1, 2				安全性の評価 ※3	耐震改修等の予定※4		備考
							内容	実施時期						
8	島村会館	葛飾区金町6-1-14	冠婚葬祭場	3-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)		Is	0.390	q	1.209	II	-	-	
9	ユタカキャピタル金町	A棟 葛飾区金町6-7-8	共同住宅	5-6	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	【鉄骨が充腹材の場合】	Is/Iso	1.020	CTU·SD	0.420	III	-	-	耐震改修済
		B棟 葛飾区金町6-7-8	店舗	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版)		Is/Iso	1.735	CTU·SD	0.330	III	-	-	2階建
10	ルックハイツ金町	葛飾区金町6-10-10	共同住宅	5-6	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	【鉄骨が充腹材の場合】	Is/Iso	1.067	CTU·SD	0.520	III	-	-	耐震改修済
11	金町ハイツ	葛飾区金町3-19-8	共同住宅 店舗	5-6	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	【鉄骨が非充腹材の場合】	Is/Iso	0.850	CTU·SD	0.420	II	-	-	
12	ライオンズマンション金町	葛飾区金町3-34-2	共同住宅	5-6	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	【鉄骨が充腹材の場合】	Is/Iso	1.383	CTU·SD	0.393	III	-	-	
13	葛飾区金町三丁目池田ビル (URと個人)	葛飾区金町3-49-2	共同住宅 事務所 店舗	5-6	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	【鉄骨が非充腹材の場合】	Is/Iso	0.333	CTU·SD	0.250	I	-	-	
14	富士産業金町営業所 (旧パチンコセンター)	葛飾区東金町8-2-18	事務所	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版)		Is/Iso	0.400	CTU·SD	0.280	I	-	-	
15	青戸第2ロイヤルコーポ	葛飾区青戸6-14-7	共同住宅	5-6	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	【鉄骨が充腹材の場合】	Is/Iso	1.017	CTU·SD	0.360	III	-	-	耐震改修済

No	建築物の名称		建築物の位置	建築物の用途	耐震診断方法の名称			構造体力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 ※1, 2				安全性の評価 ※3	耐震改修等の予定※4		備考
								内容	実施時期						
16	たつみ橋マンション	A棟	葛飾区東新小岩3-1-5	共同住宅 店舗	5-5	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)	【鉄骨が非充腹材の場合】	Is/Iso	0.283	CT·SD	0.170	I	-	-	
		B棟	葛飾区東新小岩3-1-5	共同住宅 店舗	5-5	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)	【鉄骨が非充腹材の場合】	Is/Iso	0.717	CT·SD	0.440	II	-	-	
		C棟	葛飾区東新小岩3-1-5	共同住宅 店舗	5-5	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)	【鉄骨が非充腹材の場合】	Is/Iso	0.317	CT·SD	0.190	I	-	-	
17	日栄マンション		葛飾区東新小岩3-2-14	共同住宅 店舗	5-6	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	【鉄骨が充腹材の場合】	Is/Iso	0.337	CTU·SD	0.200	I	-	-	
18	大生新小岩ハイツ	A棟	葛飾区東新小岩3-4-21	共同住宅 店舗	5-6	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	【鉄骨が充腹材の場合】	Is/Iso	1.017	CTU·SD	0.480	III	-	-	耐震改修済
		B棟	葛飾区東新小岩3-4-21	共同住宅	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版)		Is/Iso	1.017	CTU·SD	0.620	III	-	-	耐震改修済
19	バリアント福島		葛飾区東新小岩1-5-5	共同住宅 店舗	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版)		Is/Iso	0.880	CTU·SD	0.535	II	-	-	
20	郵便事業(株) 葛飾新宿支店 (葛飾新宿郵便局)		葛飾区金町1-8-1	事務所	6	一般財団法人建築保全センターによる「官庁施設の総合耐震基準」		GIs	1.010			III	-	-	
21	東京ガス葛飾ビル		葛飾区青戸4丁目2-8	事務所	5-5	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)	【鉄骨が充腹材の場合】	Is/Iso	1.300	CT·SD	0.260	III	-	-	耐震改修済

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断方法の名称		構造体力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 ※1, 2				安全性の評価 ※3	耐震改修等の予定※4		備考
						内容	実施時期						
22	都営東新小岩三丁目アパート	葛飾区東新小岩3丁目12-1	共同住宅 図書館	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診 断基準」に定める「第2次診断法」及び「第 3次診断法」(2001年版、2017年版)	Is/Iso	1.000	CTU・SD	0.610	III	-	-	耐震 改修済

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断方法の名称	構造体力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 ※1, 2	安全性の評価 ※3	耐震改修等の予定※4		備考
							内容	実施時期	

※1 地震に対する安全性の評価の結果については、建築物の各階・各方向の最小の値(ただし、階数に含まれない塔屋の値は除く。)を記載している。

※2 建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、備考欄に記載がない場合は1.0である。なお、1.0以外の場合は、建築物の所有者から報告された数値を備考欄に記載している。

なお、Isoは、構造判定指標で、一般的に0.6で計算している。

※3 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性については、建築物の所有者から報告された耐震診断の結果を平成31年1月1日国住指第3209号別表に当てはめたものである。

I. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

II. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。

III. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

※ 震度6強から7に達する程度の大規模の地震

いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはないとされている。

※4 耐震改修等の予定は、具体的な実施時期が報告された場合のみ記載している。

※7 所有者が耐震改修実施済みであることの公表を希望する場合は、備考欄に記載している。